

2日間にわたるスクールフェスティバルも無事に終わり、楽しい時間もあっという間だったと感じているかもしれませんね。今回はPTAショップの洋書から、54冊もの本をメディアセンターにご寄贈いただきました！すべて受け入れ手続きも終えましたので多言語コーナーに並んでいます。ぜひ皆さんで楽しんでください。



■ 今月の新着図書から ■



『6カ国転校生 ナージャの発見』 分類 372
ナージャ・キリローバ / 集英社

ナージャは親の仕事の関係で、ロシア、アメリカ、イギリス、フランス、日本、カナダと6カ国の学校を経験。教室での座り方、筆記用具、整列のしかたなど、国が違えばがらりと変わる。そんな実体験を紹介！



『沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか?』 分類 488
佐藤圭一他 / 産業編集センター

予算のために「役に立つ」研究が優先されがちななか、美ら海水族館の研究者が、好奇心のまま探究をしているようすを紹介。ジンベイザメの採血のために、はるばるガラパゴスへ行くなどスケール大きいです！



『捨てないパン屋の挑戦』 分類 588
井出留美 / あかね書房

実家のパン屋をつぎたくなかった田村さんは「環境問題を解決するような仕事につきたい！」と親に話したところ「食べ物が一番の環境問題じゃ」と言われてしまいます。そんな田村さんが海外経験も経てついた職業は・・・



『赤毛のアン』をめぐる言葉の旅
上白石萌音・河野万里子 / NHK 出版

女優の上白石萌音と翻訳家の河野万里子が『赤毛のアン』の訳を書簡でやりとりしながら言葉選びの面白さを教えてくれます。上白石さんの訳も頑張っているものの、同じ部分をプロの河野さんが手直しするだけで情景が立体的に見えてきます！



『空をこえて七星のかなた』 分類 913
加納朋子 / 集英社

星をキーワードにした連作短編集。読んでいると思いつき話？ ミステリー？ SF？ と関連がわかりませんが、最後にはすべてがつながって、視界が開けるような気持ちになります。同時に誰がお話の中心、北極星のような存在なのかも気づきますよ。



『掬えば手には』 分類 913
瀬尾まいこ / 講談社

自分は平凡だけど、人の心が読める特別な能力がある、と信じている梨木くん。なのに中学生の頃からそばにいた女の子の気持ちにはとにかく鈍感でにぶい。本当に特殊能力があるの？ と首をかしげなくなるが、そんな梨木くん周囲の人たちも巻き込まれて・・・

